

寺報は無料、不要の方は一報下さい。

第184号

# 龍源寺報

2009. 7. 1

派道樹樹明樹	1853
寺 泰茂正哲行	1853
心原原原原一	3451-
妙松松松松松	3451-
宗 住職	
濟 住職	
臨開住副開正	
T E L	3451-
F A X	3451-

振込 00160-0-104918 東京都港区三田5丁目9-23 (郵便番号 108-0073)

Email: ryugenji@ryugenji.com

URL: <http://www.ryugenji.com>

拝啓

陽春の候、ますますご清祥の段お慶び申し上げます。

さて、私こと次男の覚樹は、この五月二十四日をもちまして、米国ニューヨーク州、コーネル大学アジア宗教研究科博士課程を卒業いたします。二〇〇〇年渡米以来九年間、無事勉学に励むことができましたことは、家族のゆるぎない支えと、皆様方のご理解、ご鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。

卒業後は、カリフォルニア州カリフォルニア大学バークレー校 (英語: University of California, Berkeley) にて、まずは一年ほど日本仏教を教える予定でございます。まだまだ未熟ではございますが、日本仏教の世界への伝播にできるだけ貢献できるように目指していきたいと思っております。

今後とも、なにとぞご高配、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

この夏、皆様に龍源寺でお会いできますのを心から楽しみにしております。

末筆ながら、皆様のご健康とご活躍をお祈りいたしております。

略儀ながら書中にてご挨拶申し上げます。

敬具

二〇〇九年五月一日

松原覚樹

▼あわただしい夏を迎えました。

柳 緑

実は、春のお彼岸の時に、龍源寺住職を副住職の茂樹に譲ると発表

花 紅

した直後に、私が関係している鹿野山にある仏母寺住尼の安井さん

が脑梗塞、介護度3で職務遂行が出来なくなり、私が急速住職代務者に推挙されました。

▼仏母寺は先の妙心寺の山田無文老師が開山、東京タワーの前田久吉翁が開基。お二人の関

係から、私が仏母寺の寺付き法類をすることになりました。住職代務者は寺付き法類が受

けることなので、止む終えず引き受けました▼ところが、住職代務者は龍源寺の現役の住

職でなければならぬと言う、妙心寺の寺院規則があり、引退することが出来なくなりま

した▼ただし、寺院規則には、住職代務者の任期は六ヶ月と決められており、今年の暮れ

には茂樹副住職にバトンを渡せるのではないかと思えます。突然降ってわいた話で、皆さ

んにもご心配をおかけしましたのをお許し下さい▼仏母寺は鹿野山マザー牧場に隣接して

います。広大な敷地と墓地がありますが、収入は水子供養、家畜供養、ベット供養と、法

事くらしいの貧乏寺です。それに、セブンイレ

ブンまで片道九キロ。深い山の中ですから、

携帯電話、テレビが入りません。▼そこで独居自炊、単身赴任ですが、バートの三人のお

局さんから四六時中何かとチェックされ、ストレスがたまりました。それに仏母寺までア

クアラインをほぼ毎日運転して通ったりもしています▼座敷が二つあるのですが、尼さんの私室になっていて、荷物の片づけで大忙し。

また、野良猫を50匹も飼い慣らして、まさに猫屋敷です。今心配なのは私がつのか、

と言うこと▼スロライフを楽しんでくれと言われたが、ETCは60日過ぎてはまだ付き

ません。ナビは40日後、パソコンは60日過ぎてても未だに使えず、なんだかやる気が失せま

した▼老父母は相変わらず。副住職は五月は軽井沢でJR貨物新人社員坐禪指導。家内は

食事作り。私は講義日帰り▼次男・正樹はコネル大学博士課程卒業、家内はその卒業式

に参加。その場で博士号を授与されました。▼三男の良樹も頑張っています。家内も新著

『お寺の奥さんの作るおかず』を刊行、私の新著もそろそろ連続発売です▼海外旅行は99

回目が終わわり、遂に百回を達成します。八月に青島のお寺で講演する話があり、秋には北

京大学で講義する話も進んでいます。このあ

たりで達成かしら▼お寺の庭にそびえていた西村棟装工場の借地権を買い戻しました。北

村行夫先生が頑張ってくれました。先生とのコンビニで借地権を随分買い戻しました。しば

らくは駐車場にして、お寺の体力を付けます▼宮大工の鈴木勇輔さんを紹介します。彼は

高校卒業後に宮大工修行に入り、七年過ぎて独立しました。龍源寺のちょっとした仕事を

やってくれています。独り立ちはまだ先のことでしょう。孫みたくに可愛い奴です。

○伸工匠まろここうじょうを立ち上げましたが、私も彼が独り立ちするまで、支えてやりたい。そこで、今

回の紹介です。お問い合わせは龍源寺03-3451-1853まで。▼ベットのお墓が

仏母寺にあります。合同船(他のベットと同じ墓)です。品川からアクアラインで仏母寺

まで一時間です。どうぞご使用下さい。料金は一万円となっています▼また、水子供養も

行なっています。こちらも金一万円です。仏母寺の電話は0439-137-2336です

▼夏は北軽井沢のリニューアルなった日月庵で坐禪会のひとときを目下考慮中。(哲)

禅のポイントⅡ無生心（心に何も生じない）。無住心（心はどこにでも住める）。存在は実体ではなく、現象である。

『般若心経』二つのポイント。

般若心経が分らないと、禅が分らない。逆に禅が分らないと般若心経が分らない。般若心経はパーツが二つに分かれているし、同じく禅も思想が二つに分かれている。そしてお互いに連動し合っている。ここの交通整理が出来ていないと、般若心経も禅もごっちゃごっちゃになる。今回は、この基本的なところを学んでみよう。

般若心経は、色即是空と空即是色の二つに分かれている。これを禅と運動させると、無生と無住の二つになる。色即是空が無生であり、空即是色が無住と言うことだ。無生とは空、無住とは色である。

先ず、色即是空を説明したい。色は存在である存在を指す。坐禅して心の中にある、怒り、貪り、愚痴の存在を空にせよ、スッカラ

カンにせよ、と言うのが色即是空である。このようになった心を仏心と言うのだ。もっと易しく説明したい。心をビニール袋としよう。ビニール袋の中には、今まで生きてきた様々な思いがぎっしり詰まっている。般若心経で言うときっしりと詰まっている無明を吐き出して無くす。喜怒哀楽がぎゅうぎゅう詰めになっている。それを全部吐き出したら、心であるビニール袋はさぞかし気分がいいだろう。この気分を得るために坐禅する。禅の書物というのはいかにして坐禅するのかと、色即是空に達するための方法が説かれている。つまり、禅の入門書は色即是空への入門書ではない。そして、空になったとしても、それがどういいう状態を指すのかは言葉には出来ない。なぜならば、自分は空になりましたと言ったとたん、空から乖離してしまう。一般に全書はこのあたりで筆が止まる。こんな本は前入門書のほとんどだから、私は触れたくない。

もう一つの切り口は空即是色だ。空っぽになったビニール袋をそのままに放置してゆけば、心は空虚になり、無為になってしまう。だから、空のビニール袋に新たな色を導入す

る。たとえば、山河大地・森羅万象を収める。山河大地・森羅万象なんてものは心の中に住み込めない。その住み込めない存在を、空で広くなったビニール袋に住み込ませる。般若心経では無明が尽きることがない。無明を住み込ませる。それが有生であり、無住と言うことだ。無住は特別な生き方ではない。平常心そのままである。悟った人には、仏心のビニール袋に住み込んだら、普段通りの無明すら悟りと見る。ここを、世間の生き方と、出家の生き方は変わらないとする。仏心のビニール袋に、斎藤茂吉の詩を入れたら、悟った人から見たら斎藤茂吉の詩は仏心仏性になる。

死に近き母に添い寝のしんしんと  
遠田のかはづ天に聞こゆる

我が母よ死にたまひゆく我が母よ  
我生まし乳足らひし母よ

のど赤い玄鳥ふたつ屍塚にゐて  
足乳根の母は死にたまふなり